

組合の楽しい便り 投稿歓迎します

ラベルニュース

No377

平成 28 年 2 月号

東京都ラベル印刷協同組合

編集:広報・情報システム委員会

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

平成 28 年新春合同賀詞交歓会開催

今年こそ景気回復をと願いスタート



200人が集った平成28年新春合同賀詞交歓会

平成二十八年度のスタートとなる恒例の「新春合同賀詞交歓会」は、一月十五日午後五時より、台東区の上野精養軒に於いて、東京都ラベル印刷協同組合、東京都正札シール印刷協同組合の組合員・会友、協賛会員、ご来賓、そして報道関係者など約二〇〇名が参加して盛大に開催され、景気回復の実感のない中、今年こそ景気回復を願う声が会場に溢れていました。

新年会は今回は正札シール組合の担当で開催され、初めに田中浩一理事長が両協組を代表してあいさつしました。田中理事長は「今年の正月は天気も良く穏やかな幕開けとなりました。今年も申年ですが、申は森の中で行ったたり下に行ったりするものなので、今年も波瀾万丈の年になるのではと思っています。そんな中で貴わが業界はしっかりと前



挨拶する田中浩一正札シール理事長

進していかなくてはなりません」今年の決意を新たにしました。さらに「株価の続落や海外情勢など、新年早々様々な外的要因が出ているが、こういう時こそ自社の見直してほしい。工場は宝の山であることを再認識してほしい。従来のやり方だけでは閉塞感に陥ってしまうので、工場にある様々な機械や原反を見つめ直して新たな製品やサービスを考えていかななくてはならない」と挨拶しました。

来賓として東京都中小企業団体中央会の橋北隆総務課長と根協賛会の大内昭彦会長がそれぞれ祝辞を述べました。この後乾杯に移り、東京都ラベル印刷協同組合顧問の渡邊正一氏が音頭を執り参加者全員で声高らかに乾杯し、和やかな歓談が繰り広げられ、会場のあちこちで「今年こそ良い年であるように」という声が多く聞かれ、小宮山光男監事の中締めで、午後七時前に三階

おかげ様で組合創立50周年

総会終了後に記念式典と表彰式を

5月24日にホテルラングウッドで

年頭所感

青年部長 藤井崇徳



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は公私共に、大変なご支援、ご協力を請けたまわりましたことを、厚く御礼を申し上げます。

青年部では、昨年五月の総会にて、僭越ながら私共部長を務めさせていただきこととなりました。その席でのご挨拶で一年目の体制のお話しを差し上げ「起業」を学ぶ半期と宣言させていただきますました。

我々シール・ラベル業界に限らず、印刷業界の迎えている現状は相変わらず厳しいです。そんな中でも現状印刷業に求められているものは、「金額」「納期」＋「サ

ービス」です。数年前まで最大の武器だった「技術」「特殊性」への意識の薄れは如実です。

求められることに幅が出来たのはいいいことでもあります。それらにより印刷業界は二極化が進んでおります。

元々我々のような技術に特化した「専門職」としての形態、もう一方は安価でネット通販などのサービスが充実した「ディスカウントショップ」や「スーパーマーケット・コンビニ」のような形態です。

以前は前者はB to B、後者はB to Cと住み分けがハッキリとしておりましたが、機械の進歩や、紙媒体以外のコンテンツの発展、印刷自体の効果・実用性の薄れ、等で企業もネット通販を利用してしている現状があります。

ざっくりばらんに言うところ「見た目が対して変わらなければ、安くして便利な方を」という事です。こんな状況を「コモディティ化」と言います。

そのコモディティ化が

進む昨今、専門職の在り方をもう一度考え直す事が必要かと、青年部では考えております。

本年も引き続き「起業」をテーマに、ラベル組合だけではなく、印青連を通じた近い業種の方々、中央会を通じた他業種の方々を中心に、様々なヒアリングを試み、新たな価値創造を探求し実践し、進化していくことを目標に青年部一同で頑張るつもりです。

簡単ではございますが、本年も、皆様方のご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、年頭の挨拶と代えさせていただきます。

東京しごと財団では、企業が障害者雇用をするために、様々な支援を強力にバックアップする体制づくりをしています。

障害があっても働いて自立した生活を望む障害者が増えてきている中、実際の雇用にあたっては経験やノウハウの不足による不安の声が多いのも事実でねこのため東京しごと財団では、東京都や地域の就労支援機関等と連携して、障害者雇用を支援する様々な事業を展開しています。

これまで障害者を雇用したことのない企業は「どんな仕事ができるのか」等の不安に対して、担当者が適切にお答えします。

これらの事業について具体的にお知りになりたい方は、東京しごと財団のホームページか左記へお問い合わせ下さい。

東京都千代田区飯田橋三の〇の三 東京しごとセンター八階 ☎〇三・五二一・二六八一

<http://www.shigotozaidan.or.jp/>

東京しごと財団

貴社の障害者の雇用を

強力にバックアップ

組合賦課金見直しについて

既報の通り組合では昨年からの、組合賦課金見直し作業を始めておりますが、このほど最終的な見直し案が先月の理事会で承認されました。まだ若干の手直しが必要な部分もありますが、三月中には正式な賦課金の詳細が発表できるまでになりました。

ご承知の通り前回の賦課金の見直しは、二十年前であり、現状にそぐわなくなってきたことや、組合財政の逼迫が待たなしくなってきたことで、今回見直し作業に入ったものです。

最終的には平均月額で二千五百円から三千元程度のご負担増をお願いすることになります。

具体的にはこれまでの規模割りと機械台数の均等割りを改訂させていただきます。これまで機械台数一台につき九〇〇円を、機械の種類を①平圧機・インキジェットプリンター②間欠及び輪転機③その他の印刷機と三種類に分けて徴収することとなりました。

また、これまで賦課金の対象を「粘着紙を使用するシール・ラベル印刷機と下げ札印刷機」としていましたが、これを「粘着紙を使用するすべての印刷機」と改訂いたしました。まだ若干の見直しをしなければならぬ点もありますので、三月中には発表できると思います。

景気回復も今一步のところ、こうした環境下での賦課金の見直しは、大変心苦しいお願いではありますが、健全な財政基盤なくして、正常な組合運営は出来ませんので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1月度理事会議事録

日時 一月二十九日(金)

午後六時

場所 連合会会議室

1. 賦課金改訂について

本間専務理事より賦課金改訂についての新たな案が示され、機械の種類も

①平圧機・インクジェットプリンター、②間欠・輪転機、③その他の印刷機の種類とすること案が示され、最終的に月額で平均2,500円から3,000円程度の負担増になると説明され全員一致で承認された。ラベルニュース12月号に掲載して周知を図ることで了承された。

2. 組合創立50周年について
本間専務理事より五月二十四日の総会後の懇親会を創立50周年記念式典として開催することが報告された。また、交通安全ステッカーも蔵前警察署に一万五千枚を寄贈することになり、本間専務理事が蔵前警察に赴き打ち合わせをしたことや、材料はリンテック

が提供してくれること、印刷はヤマックスが引き受けてくれることになったことが報告された。また、こういう時期なのでアトラクションなどは行わずに、組合員、協賛会、永年勤続従業員への表彰を今後検討することで承認された。

3. 支部会開催について

今年度最後の支部会開催について、二月末から三月上旬に開催してほしいと要請があり、支部長に早急に日程等を事務局に連絡することです承された。

4. 組合加入アンケートについて

加入拡大委員会より組合加入のためのアンケート用紙が示されたので、それを検討した結果様々な配布方法の意見が出されたが、まずは出すことが先決であり、その結果を見て次の手を考えるということでは了承された。

5. その他について

①清宮常務理事よりマインバー制度について報告があり、今はまだガタガタしているが、いずれは企

業にとっても大きな問題になるので、企業として何をしなればいけないかを簡単にまとめてみたので、これをラベルニュースに掲載したい旨報告があり了承された。

全日本シール印刷協同組合連合会 DVD「技術伝承セミナー」を 「平圧機」につづき「凸版間欠機」を

全日本シール印刷協同組合連合会は、昨年八月に大阪で開催された若手オペレーター向けの研修会の模様を収録編集した「技術伝承セミナー」のDVDの販売をこのほど開始しました。

同セミナーは連合会が二〇一四年から実施している事業の一つで、第一弾の「平圧機」に続いて今回は「凸版間欠機」による技術指導の模様を収録編集したものです。

技術指導は、連合会の山下庫太技術委員長と西の恒雄委員の全面協力で行われたもので、世界の趨勢は「デジタル」

二巻は全体的に黒い部分が多いカラー印刷でリッチブラックの効果、墨ベタのグラデーションの消し方の内容。第三巻は受講者に事前にお願したアンケートにすべて回答して、様々なトラブルシューティングをまとめた内容となっている。

組合での勉強会や行事でポイントを開設する際や、研修会の予習、復習での使用、オペレーター等の自己啓発資料として等、幅広い活用ができるものと期待されている。

販売対象は全日本シール印刷協同組合連合会の組合員・会友、協賛会員のみで三巻セットで税込み一万円となっています。

なお、購入に際しては複製、転売、インターネット上の公開を禁止するため、誓約書を書いていただき購入となっています。購入希望者は、先までご連絡ください。

全日本シール印刷協同組合連合会
〒五八一二一五
FAX 五八一二一五
七八八三

印刷用語集の 内容さらに拡充

日印産連

日印産連は、昨年六月に設立三〇周年記念事業として「Web版印刷用語集」を公開しましたが、今回、トップ画面を改良し、約六カ月間の活用状況の分析に基づいて、利用される頻度の高い用語アクセスが急増した用語、関連する展示会などのイベントとの関係で追加や改訂された用語の情報などを公開しました。

今回の改良の多くは、ご利用戴いている皆様のアイデアに基づく機能追加で、閲覧される方がより活用しやすくなることを目指しています。

このことにより、印刷産業と社会の関わりなどより広く印刷産業を理解することにつながるものと期待しています。

閲覧はホームページで。

http://www.jfpi.or.jp/topics_images/tpc241_356.pdf

■ジカ熱とは、

ここ最近毎日のように「ジカ熱」のニュースが流れ成す日はありません。ブラジルではすでに非常事態宣言がだされるなど、リオのカーニバルや、オリンピックを控え、大きな問題となっています。

デング熱と同様、蚊を媒介に感染するそうです。

■どんな症状か

三日〜十二日の潜伏期の後、急性の発熱、非化膿性の結膜炎、頭痛、筋痛、関節痛、脱力、斑点状丘疹、下部肋骨水腫を起こします。頻度は下がりますが、後眼窩痛、食欲低下、嘔吐、下痢、腹痛を起こします。症状は四・七日間続き、自然に治まります。

もちろん全ての症状が出る訳ではありません。このウイルスに感染しても発症しない人もいます。また、症状が軽くてそのまま気付かずに完治する人も多くいるそうです。

■治療方法は

ジカ熱に対するワクチンや有効な治療薬は開発されていないが、適切に治療すれば死亡率が1%未満とされるデング熱よりも症状が軽いため、生命の危険は

ほぼないとされています。対処療法で対応でき、致死率も低いようです。

デング熱もそうですが、ジカ熱も一度感染して抗体ができる、生涯この病気には罹らなくなるそうです。

■ブラジルでは国家緊急事態宣言が

致死率は低いし自然治癒するこの感染症。しかし大きな問題が懸念されています。

それは、小頭症との関連性です。ジカ熱をめぐっては最近、小頭症の増加との因果関係が指摘されてニュースになりました。小頭症は新生児の脳の発達不全につながる神経疾患。頭が極端に小さい子どもが生まれ、深刻な発育障害が残ったり、幼少時に死亡したりすることもあります。ブラジルでは小頭症の新生児がこの半年で急増しています。

ブラジル保健省によると、この半年で、過去五年間のおよそ十倍にあたる、二四〇一人の小頭症の新生児が確認されたという。セアラ州で小頭症と診断さ

れた子供の血液・組織検査で、同ウイルスの存在が確認されたといえます。ジカ熱との関連が疑われる死亡例も二件確認されています。

小頭症の症例が急増した時期は、ブラジル国内でジカウイルスが確認された時期と重なっていた。母親が妊娠初期に、微熱や発疹、頭痛といったジカ熱の症状を発症していたことも分かっています。

小頭症とは普通よりも脳が極端に小さい病気で奇形症候群の一つと考えられています。

小頭症の原因は先天性のものから後天性のものもあるといわれ、さまざまな要因が考えられています。その一つとして、妊娠中のジカ熱感染も関連しているそうです。

日本での感染は二〇一三年以降三例の輸入症例が報告されており、厚生労働省ではデング熱同様に水際対策に乗り出しています。

《引用資料》

<http://matome.naver.jp/odai/2145173431611974501>

No135 健康がいちばん!

蚊を媒介にするジカ熱とは ブラジルでは非常事態宣言